

第10章

動く動物を捉えられるか

コントローラのテストと撮影

第8章ではキヤノン用、第9章ではニコン用の準備をしました。ここでは、カメラに関係なく共通に必要な準備をしていきます。あともう少しでシステムの完成です。

10-1 テスト用リリースを作る

押しボタン・スイッチを利用して、センサ基板なしにシャッタが切れるような用意をしておきます。スイッチを適当なものに変えれば、ドアが開いたり、スイッチを踏んだときにシャッタが切れるようにも応用できます。

表10-1 テスト用リリースに必要な部品表

| 部品番号 | 部品名 | 個数 | 備考 |
|-----------------|----------------|----|-----------------------------|
| SW ₁ | 押しボタン・スイッチ | 1 | 押したら ON に、離したら OFF になるもの |
| | 単3形電池2本用電池ボックス | 1 | 電池スナップ・タイプを使うときは電池スナップを忘れずに |
| | φ3.5ステレオ・ジャック | 1 | 中継用、ケースに組み込むならパネル取り付け用 |
| | ビニール線、熱収縮チューブ | 少々 | ビニール線はシールド線でも可 |



写真10-1 テスト用リリースのパーツ

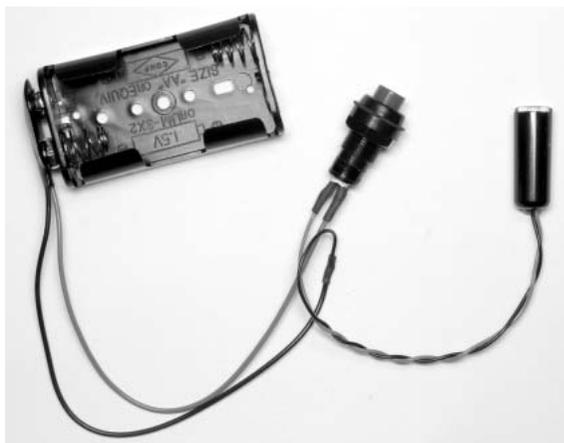


写真10-2 テスト用リリースの完成した様子

用意するものは表10-1のとおりです。ビニール線はシールド線を利用してかまいません。シールド線の場合は、シールド部分をグラウンド側に、芯線側を電源側に使います。部品の外観を写真10-1に示します。完成すると写真10-2のようになります。

● 動作を知ろう

回路図と実体配線図を図10-1に示します。単3電池2本(3V)を電源として、押しボタン・スイッチを押すと接点がつながり、ステレオ・ジャックに3Vが出力されます。

● 組み立てよう

章末のMAKE10-1に組み立ての様子を示します。

● ステレオ・ジャックを付ける

ミニ・ステレオ・プラグ付きのコードで回路同士を接続するために、ここで用意したシャッタ・オン信号の入力部分にステレオ・ジャックを付けます。ステレオ・ジャックの根元にグラウンド、中央にシャッタ・オン信号とします。ステレオ・ジャックは、写真10-3のようにネジをゆるめると分解できます。写真以外のタイプも売られています。ジャックの後ろ側に三つの端子が出ています。一番大きい部分が根元のグラウンドをつなぐ端子です。中央と先端がどちらかわからない場合には、両端ステレオ

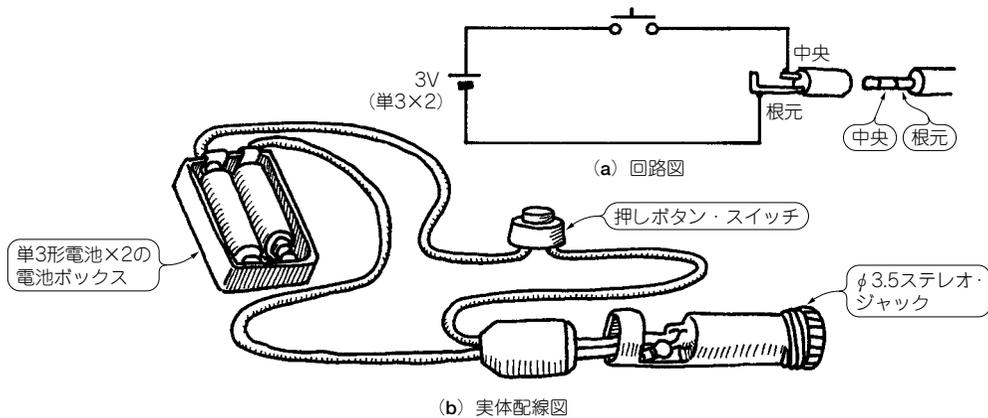


図10-1 テスト用レリーズの回路と実体配線図



写真10-3 ステレオ・ジャックの分解



写真10-4 ジャックの配線の確認

両端ステレオ・プラグのケーブルを挿し、テスタを使って、中央と根元がそれぞれの端子につながっているかを調べる。